プレスリリース

慶應義塾大学

2024 年 12 月 10 日

報道関係者各位

慶應義塾大学

膨大な情報が渦巻くデジタル空間でバランスよく情報を摂取するには？

慶應義塾大学 X Dignity センターが国際シンポジウムを開催（12/21）

慶應義塾大学 X Dignity センターは、慶應義塾内外の研究者が提唱する「情報的健康」を世界へと広め、各国の機関・研究者と情報空間に関する共同研究を推進するため、国際シンポジウム『「情報的健康」を、日本から世界へ―国際連携によるデジタル空間健全化への駆動―』を開催いたします。

1. 開催背景

慶應義塾大学の研究者を含む研究者グループが、情報摂取のバランスを意識することなどを通じて、個々人が希求する情報摂取状況を実現すること―「情報的健康」―を提唱して数年が過ぎました。しかしながら、情報空間の健全性は好転することはなく、むしろ「アテンション・エコノミー」の進行とともに、悪化していると言わざるを得ません。また、民主主義国における選挙戦への影響や、紛争や対立をめぐる偽・誤情報の拡散、誹謗中傷や詐欺被害の顕在化など、情報空間を巡る問題はもはや国境を越えており、国際的な枠組みで対応を急ぐことが強く求められています。

慶應義塾大学 X Dignity センターでは、健全な言論空間に関する各国の議論を参照しつつ、国際的な視点から、日本や世界が今後向かうべき言論空間のあり方や「情報的健康」という概念それ自体についてさらなる検討を加えるため、国際シンポジウムを開催いたします。また、本シンポジウムを各国の研究機関・研究者と協働する契機とし、情報空間の問題点について国際的な枠組みで対応すべく、世界各国の研究者らとの包括協定締結により「情報的健康」を国際的に普及させるとともに、様々な研究や活動を実践してまいります。

2. 開催概要

日　時：2024 年 12 月 21 日（土）13：00～18：40
会　場：慶應義塾大学三田キャンパス　北館ホール　※途中入退場自由
対　象：どなたでもご参加いただけます　※要事前登録
形　式：対面と Zoom 配信のハイブリッド
言　語：日本語・英語（同時通訳あり）
費　用：無料
主　催：慶應義塾大学 X Dignity センター
後　援：Originator Profile 技術研究組合、計算社会科学会、人工知能学会、一般財団法人 NHK 財団
協　力：JST-RISTEX『SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム』「可視化によるトラスト形成:パーソナライズされたデジタル情報空間のリテラシー教育（研究代表者：鳥海　不二夫）」

3. 参加方法

下記のフォームから事前申込みをお願いいたします。
https://forms.gle/L71qYJivRi78xAM78
※受付終了 2024 年 12 月 20 日（金）12:00
※会場参加は定員に達した時点で申込みを締め切ります。

4. プログラム

タイムテーブル詳細　https://www.x-dignity.kgri.keio.ac.jp/news/408/

※プログラム内容は現在調整中であり、一部変更となる場合がございます。

〈第一部〉13:00～

■開会挨拶

山本　龍彦（慶應義塾大学大学院法務研究科教授）

■趣旨説明

鈴木　雄也（情報的健康プロジェクト事務局）

■「情報的健康」紹介動画の放映

■基調講演「SNS 時代に問われるメディアリテラシー」

古田　大輔（日本ファクトチェックセンター編集長）

■特別講演①「公衆衛生の観点から見た情報空間の現状と課題」

Tina D Purnat（ハーバード T.H.Chan 公衆衛生大学院 公衆衛生学博士課程在籍 / メンフィス大学公衆衛生学部 客員研究員）

■特別講演②「なめらかな社会と分断社会」

鈴木　健（東京大学特任研究員）

〈第二部〉15:10～

■パネルディスカッション①「X-Talk（クロストーク）「情報的健康-神経科学・認知科学の視点を踏まえて」

モデレーター：

山本　龍彦（慶應義塾大学大学院法務研究科教授）

パネリスト：

牛場　潤一（慶應義塾大学理工学部教授）

小久保　智淳（東京大学大学院情報学環助教、KGRI 客員所員）

徳永　聡子（慶應義塾大学文学部教授）

■パネルディスカッション②「『情報的健康』の国際連携に向けての課題」

モデレーター：

水谷　瑛嗣郎（関西大学社会学部メディア専攻准教授）

パネリスト：

鳥海　不二夫（東京大学大学院工学系研究科教授）

Tina D Purnat（ハーバード T.H.Chan 公衆衛生大学院 公衆衛生学博士課程在籍 / メンフィス大学公衆衛生学部 客員研究員）

Thitirat Thipsamritkul（タマサート大学法学部日本法研究センター講師）

水嶋　一憲（大阪産業大学経済学部国際経済学科教授）

鍛治本　正人（香港大学ジャーナリズム・メディア研究センター教授）

〈第三部〉17:45～

■「情報的健康」連携推進に関する包括協定締結

慶應義塾大学 X Dignity センター

水嶋　一憲（大阪産業大学経済学部国際経済学科教授）

鍛治本　正人（香港大学ジャーナリズム・メディア研究センター教授）

Dongsheng Zang（ワシントン大学）

ポーランド科学アカデミー　フランス・ポーランド法思想研究センター

Caroline Lequesne（コートダジュール大学）

タマサート大学法学部

（順不同）

■閉会挨拶

山口　寿一（株式会社読売新聞グループ本社代表取締役社長）

4. 会場案内

会 場：慶應義塾大学三田キャンパス

住 所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

交通アクセス：田 町 駅（JR 山手線／JR 京浜東北線）徒歩 8 分

三 田 駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩 7 分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 8 分

【本イベントに関するお問い合わせ先】

慶應義塾大学 X Dignity センター　「アテンション・エコノミーと情報的健康」事務局

info-health-group@keio.jp

【本リリースの配信元】

慶應義塾広報室　TEL：03-5427-1541　FAX：03-5441-7640

E-mail：m-pr@adst.keio.ac.jp　https://www.keio.ac.jp/